



★シートを使って、あなた自身やあなたの身の回りを振り返り、評価してみましょう。

1…できなかった 2…あまりできなかった 3…どちらとも言えない 4…できた 5…よくできた

NO.		点 検 項 目	評価
1	学 級 経 営 指 導 に つ い て	児童生徒を呼び捨てにしないで、「〇〇さん」と名前できちんと呼んでいる。	
2		呼び方や態度、あいさつなど、すべての児童生徒に対して平等に関わっている。	
3		毎日、児童生徒の服装や表情、素振り等の変化に気を配っている。	
4		すべての児童生徒に対して、いつも「ほめる」「認める」ことを心掛けている。	
5		児童生徒を他者と比較してほめたり、叱ったりしないようにしている。	
6		子どもとの約束を守っている。	
7		児童生徒が話しかけてきた時に、「後で」と言ってそのままにすることがないようにしている。	
8		児童生徒をよくない見本にしないようにしている。	
9		指導の際に大きな声にならないようにしている。	
10		遅刻や忘れ物、不適切な行動などが見られた場合、理由を聞いてから指導するようにしている。	
11		児童生徒が思い通りに動かなかったときに、冷静に話をするができる。	
12		児童生徒に対し、一方的な思い込みや偏った見方、固定的な性別役割分担意識等ではなく、確かな事実や根拠を基に指導している。	
13		児童生徒が授業に見通しをもって参加できるよう、授業の流れやめあてを提示している。	
14		子どもたちが安心して考えや思いを発言できる授業の雰囲気を作っている。	
15		間違った答えや失敗を冷やかすような言動が見られた場合、そのまま見過ごすことなくその場で適切に指導している。	
16		間違いや、できないことばかりを指摘してばかりいる児童生徒に、いいところやがんばっているところを見つけるように指導している。	
17		特定の児童生徒に仕事や役割が偏っていないか（押し付けられていないか）、気を付けている。	

NO.		点 検 項 目	評価
18	養 育	保護者と日常的に話し合える雰囲気を作る努力をしている。	
19		保護者の願いを受け止め、指導や学級経営に生かそうとしている。	
20	教 職 員	児童生徒の模範となるような、適切な言葉遣いや行動を意識している。	
21		困ったことがあった場合、一人で悩まないで誰かに相談している。	
22		児童の気になる様子やがんばっていることを、教職員間で話している。	
23		間違ったり失敗したりしたことを、冷やかしたり、他の児童生徒に話したりしない。	
24		体罰や不適切な指導を未然に防止するために、日常の指導の在り方について担任間で話している。	
25	の 人 権 意 識	不快と感じるかどうかは、相手（児童生徒も含む）の気持ちのみで決まることを理解している。	
26		どのような行動がハラスメントに当たるかを理解し、適切なコミュニケーションを取るよう心掛けている。	
27		同僚がちょっと変だな、大丈夫かな、それはおかしいと思ったら教職員同士で声を掛け合ったり、注意したりしている。	
28		研修や所属長からの指導を、他人事と思わずに、自分事として捉え自分の言動について振り返っている	
29		人権に関する課題について、研修などで学んだり調べたりして、新しい情報や知識を得るようにしている。	
30	そ の 他	文書等を作成する際には誤字脱字や不適切な表現がないか、またそれを読む人の立場に立ち、意図が誤解なく伝わる表現になっているか、複数で点検をしている。	
31		個人情報の取り扱いについて、十分に配慮している。	

最近、フィンランドでアジア人差別が話題になっています。2025年のミスフィンランド受賞者が「つり目」ジェスチャーを SNS に投稿し炎上、謝罪したものの称号をはく奪されました。さらに支持表明として国会議員らも同様の写真を投稿し、大きな批判を受けました。

傷つけるつもりがなくても、表現や言葉は相手に偏見や不快感を与えることがあります。「悪気がないから大丈夫」ではなく、「どう受け止められるか」を基準に考えることが、人権尊重の第一歩です。（2025.12月実施 Ver）

今日のチェックシートを通して、私たち自身の意識を振り返ってみましょう。

セルフチェックシートは自分自身を振り返るためのものであるため、回収はしません。

この結果を今後の教育活動に生かしていただければと思います。

何かご意見等あれば人権教育推進委員会まで。

ご協力ありがとうございます

